

学長定例記者会見要項

日 時： 令和4年4月7日（木） 11：00～11：45
場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 第4期中期目標期間を迎えるにあたって
2. 山形大学アントレプレナーシップ開発センターがスタート
～起業家精神を持つ人材の育成、企業や地域の事業化支援を担う新拠点～
3. 「なか東北連携」地域日本語教育専門人材養成
～岩手県・秋田県・山形県7者の事業連携協定に基づく講座について～

お知らせ

1. 第15回山形大学高校生朗読コンクール出場者募集
2. 『アンデス文明ハンドブック』の出版について
3. 令和4年度山形大学入学式について

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時： 令和4年5月12日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（4月7日）発表

1. 第4期中期目標期間を迎えるにあたって

学長

たまたま ひでとし
玉手 英利

2. 山形大学アントレプレナーシップ開発センターがスタート

～起業家精神を持つ人材の育成、企業や地域の事業化支援を担う新拠点～

山形大学アントレプレナーシップ開発センター長・教授

おのでらただし
小野寺忠司

3. なか東北連携「なか東北連携」地域日本語教育専門人材養成

～岩手県・秋田県・山形県7者の事業連携協定に基づく講座について～

学士課程基盤教育機構長

学術研究院 教授（日本語教育学）

みかみ えいじ
三上 英司
うつみ ゆみこ
内海由美子

令和4年（2022年）4月7日

第4期中期目標期間を迎えるにあたって

【本件のポイント】

- 第4期中期目標期間の初年度である令和4年度、山形大学は、地方の活性化と地域の中核となる大学の実現を目指し、地域社会との連携を更に拡充するため、執行部に新たに社会共創担当副学長を加え、新体制がスタートする。
- また、これまでの「山形大学の将来構想」を一新し、「山形大学将来ビジョン」を新たに策定。さらに、第4期中期目標期間を迎えるにあたり、「山形大学将来ビジョン」に基づき「国立大学法人山形大学 第4期中期目標・中期計画」を策定。
- 併せて、これらの施策の達成及び本学が直面している課題解決に向け、令和4年度に本学が行う実行計画として、「令和4年度山形大学行動計画」を策定。

【概要】

国立大学は、令和4年度より第4期中期目標期間を迎えます。それとともに、山形大学も新たなスタートを切ることとなりました。

運営体制については、執行部に社会共創担当副学長を加え、新体制がスタートします。

また、従来の「山形大学の将来構想」を一新し、「山形大学将来ビジョン」を策定しました。これは、社会が急激に変化し先行きの見えない中、山形大学が3つの使命（地域創成、次世代形成、多文化共生）をこれからも果たしていくため、「つなぐちから」をキーワードとし、地域とともに歩む大学の真の在り方を心に刻むべく新たに策定したものです。そして、山形大学が「コモンズ」として目指す4つのビジョンを提示しています。

さらに、第4期中期目標期間を迎えるにあたり、「山形大学将来ビジョン」に基づき「国立大学法人山形大学 第4期中期目標・中期計画」を策定しました。この中では、SDGsの達成に貢献する教育、研究および社会との共創を推進し、持続可能な‘幸福社会’の実現を目指すことを基本的な目標に掲げ、「社会との共創」を重点事項とし、山形県内の大学、地方公共団体、産業界、医療界等が一体となった「地域連携プラットフォーム」の設置をはじめとした34の計画を策定しております。

そして、これらの施策の達成及び本学が直面している課題解決に向け、令和4年度に本学が行う実行計画を「令和4年度山形大学行動計画」としてまとめました。教育、研究、社会共創、経営に関する41の計画を策定しております。

新たなスタートを切る令和4年度、山形大学は、これらの施策・計画の下、全力で取り組んでまいります。

【山形大学将来ビジョン「つなぐちから。山形大学 ー共育・共創・共生による持続可能な幸福社会の実現ー】

- ・ 「つなぐちから」をキーワードとし、急激に変化する社会において山形大学が3つの使命（地域創成、次世代形成、多文化共生）を果たしていくために、地域とともに歩む大学の真の在り方を心に刻むべく策定。
- ・ 基本宣言として、社会との共育・共創・共生の実践による幸福社会の実現と、つなぐちからにより「コモンズ」として地域から愛され、地域とともに発展する大学となることを掲げている。
- ・ 「コモンズ」としての山形大学が目指すビジョンとして、教育、研究、社会共創、経営の4つのビジョンを提示。
<ビジョン>
 - ・ 教育：学生と地域をつなぎ、多様な「共育」環境を創出
 - ・ 研究：幸せの素となる知を、あらゆる角度から総合的に創出
 - ・ 社会共創：多様な人材と地域の新たな価値を創出、頼れるパートナーへ
 - ・ 経営：ステークホルダーが積極的に参画する戦略的経営を推進

※山形大学将来ビジョン HP：https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/university/future_vision/

【国立大学法人山形大学 第4期中期目標・中期計画】

- ・SDGsの達成に貢献する教育、研究および社会との共創を推進し、持続可能な‘幸福社会’の実現を目指すため、第4期中期目標期間における基本目標として以下の5つを提示。
 - 1 幸福な社会を実現する人材の育成
 - 2 持続的な発展と新たな知の創造に貢献する学術の推進
 - 3 地域の創生を加速する社会との共創の場の構築
 - 4 高度医療の推進と地域連携に基づく充実した医療体制の構築
 - 5 持続的に発展する経営体としての自己変革
 - ・中期目標は、文部科学省の大綱に示された25の項目から、16項目を選択。
 - ・中期計画は、「社会との共創」「教育」「研究」「医療」「経営」の各分野において合計で37の計画を策定。
 - ・「地域連携プラットフォーム」の設置、数理・データサイエンス・AI教育の全学生への提供、有機材料等研究への重点支援、重粒子線がん治療の推進、ステークホルダーとの対話促進等の計画を盛り込んでいる。
 - ・第4期中期目標期間は、令和4年度から令和9年度の6年間。
- ※第4期中期目標・中期計画HP：<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/university/middle/fourth/>

【令和4年度山形大学行動計画】

- ・本学が当該年度に行う具体的な実行計画をステークホルダーに積極的に発信することを目的に、令和4年度より「山形大学行動計画」を策定。
 - ・令和4年度版については、教育、研究、社会共創、経営に関して、以下の計画を含め41の計画を策定している。
 - <山形大学がリードする社会共創 (No.24) >
 - ・山形県内の産官学金医の連携により、新たに「やまがた社会共創プラットフォーム（仮称）」を設置し、山形県内の様々な課題克服に向けた活動を開始します。
 - <高度先進医療の提供 (No.27) >
 - ・東日本重粒子センターの本格稼働により、治療患者数の増加を目指します。
 - <法令と社会規範を遵守し、ハラスメントの無いキャンパスの創成 (No.30) >
 - ・社会規範を遵守し、ハラスメントの無いキャンパスとするため、全教職員の高い倫理観を醸成するための研修を行うとともに、未然防止の仕組みと組織体制を強化整備します。
 - ・研究不正・研究費不正を根絶するための研修を全教職員へ行うとともに、再発防止に向けて既存制度の見直しを行い、取り組みを強化します。
- ※HPについては、令和4年4月中に公開予定。

お問い合わせ

【将来ビジョンに関すること】

総務部総務課秘書広報室

TEL 023-628-4008 メール yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【第4期中期目標・中期計画、令和4年度行動計画に関すること】

総務部企画IR課

TEL 023-628-4190 メール yu-kikair@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学の新体制について

【役員】

職名	氏名	任期
学長	玉手 英利	2020. 4. 1～ 2026. 3.31
理事・副学長 (研究, 産学連携担当)	飯塚 博	2022. 4. 1 ～ 2024. 3.31
理事・副学長 (教育, 入学試験担当)	出口 毅	同 上
理事・副学長 (学生支援, 学術基盤, 広報担当)	矢作 清	同 上
理事・副学長 (病院, 財務担当)	根本 建二	同 上
理事・副学長 (企画, 評価・IR, 総務, 危機管理, 内部統制担当)	花輪 公雄	同 上
理事 (非常勤) (施設担当)	纈纈 晃	同 上
副学長 (国際交流担当)	林田 光祐	同 上
副学長 (社会共創担当)	大森 桂	同 上
副学長 (人事・労務担当)	羽鳥 政男	2021. 4. 1～ 2023. 3.31
監 事	渡辺 均	2020. 9. 1～ 2024. 8.31
監 事 (非常勤)	大森 夏織	同 上

【法人部局長】

職名	氏名	任期
小白川キャンパス長	大西 彰正	2022. 4. 1～ 2024. 3.31
飯田キャンパス長	上野 義之	同 上
米沢キャンパス長	黒田 充紀	同 上
鶴岡キャンパス長	村山 秀樹	同 上
附属学校運営部長	三浦 登志一	同 上
医学部附属病院長	佐藤 慎哉	2020. 4. 1～ 2023. 3.31

【大学部局長】

職名	氏名	任期
社会文化創造研究科長	是川 晴彦	2021. 4. 1～ 2024. 3.31
人文社会科学部長	是川 晴彦	2022. 4. 1～ 2024. 3.31
教育実践研究科長	中西 正樹	同 上
地域教育文化学部長	中西 正樹	同 上
理学部長	並河 英紀	同 上
医学系研究科長	上野 義之	同 上
医学部長	上野 義之	同 上
理工学研究科長	黒田 充紀	同 上
有機材料システム研究科長	伊藤 浩志	同 上
工学部長	黒田 充紀	同 上
農学研究科長	村山 秀樹	同 上
農学部長	村山 秀樹	同 上
大学院基盤教育機構長	出口 毅	同 上
学士課程基盤教育機構長	三上 英司	同 上

令和4年（2022年）4月 7日

山形大学アントレプレナーシップ開発センターがスタート ～起業家精神を持つ人材の育成、企業や地域の事業化支援を担う新拠点～

【本件のポイント】

- 2021年度まで5年間実施した文部科学省・次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）の成果を引き継ぎ、人材育成と地域貢献を担う拠点になる。
- 本学の学生に加えて、中高生、他大学生、社会人（企業・団体）と対象を拡大、海外著名大学のビジネススクール連携など独自プログラムを構築している。
- ポストコロナの新時代、自ら課題を捉え、周囲のリソースや環境の制限を越えて行動して新たな価値を生み出す「アントレプレナーシップ」の醸成が必要不可欠であり、想定される教育ニーズ拡大に対して確実に応えていく。



アントレプレナーシップの教育風景
2019年度EDGE-NEXTプログラムから

【概要】

山形大学は、アントレプレナーシップ教育を進めるための全学的機能を有する組織として「アントレプレナーシップ開発センター」を4月1日付けで山形大学小白川キャンパス内に設立しました。小野寺忠司センター長が事業統括責任者として、これまで5年間の文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)」で培ってきた経験と実績をもとに本格的に事業を推進していきます。センターの場所は、山形大学小白川キャンパス、人文社会科学部3号館8階になります。

ここでは、質の高いプログラムを継続的に提供するために、国内外における組織的（他大学・コロンビア大学、山形県など）・人的（実務家教職員、客員教授、リエゾンアドバイザーなど）なネットワークの充実を図ります。加えて、本学の教育カリキュラムでの単位化の検討、学部との連携（協力教員の配置等）も進めていきます。

今回の体制整備を通じ、アントレプレナーシップ教育機能の充実および地域におけるアントレプレナーシップ醸成のハブ機能の強化を図り、地方国立大学を代表するアントレプレナーシップの教育研究やスタートアップ創出支援の拠点を目指していく構想であり、今回のセンター設置はその第一歩になります。具体的な教育プログラムとしては、山形大学人材育成プログラム「i-HOPE（イノベーション人材育成）(注)」として実施していきます。

新しいセンターへの引き続きのご支援を賜りますよう、宜しく申し上げます。

【「i-Hope」プログラム】

主要なプログラムとして、新規事業創出イノベーションプログラム、リーンマネジメント推進リーダー育成コース、IT人材育成プログラムを順番に実施していきます

新規事業創出イノベーションプログラムは、5月14日から実施していく予定です。

プログラム・コース名	対象	重点	育成のねらいと実施内容
新規事業創出イノベーションプログラム ・起業家マインド育成コース ・事業化リーダー育成コース	学生 社会人	人材育成 + 新規事業	育成：リーダー人材/イノベーター人材 目的：新規事業立上(会社)、起業(個人) 内容：アントレプレナーシップ教育(マインドセット、スキルセット、ブラクティス)、事業化支援等 開催：毎週土曜日全16回開催
リーンマネジメント推進リーダー育成コース	社会人 学生	人材育成 + 基盤強化	育成：リーダー人材/マネジメント人材 目的：経営課題解決、収益力強化 実施：リーンマネジメント教育(生産性向上、経営改善、収益改善等、問題解決手法の習得) 開催：毎週火曜日全16回開催
IT人材育成プログラム ・スーパーエンジニアプログラム ・DX基盤強化推進リーダー育成コース (SEPS-Pro)	SEPS 高校生 *-Pro 社会人	人材育成 + 基盤強化	育成：リーダー人材/IT(DX推進)人材 目的：高校生向け実践的IT能力育成(SEPS)、経営基盤強化や新規事業創出につながるDX能力の育成(SEPS-Pro) 開催：課題解決型プログラミング教育、シリコンバレー連携、コンテンツ活用オンライン教育

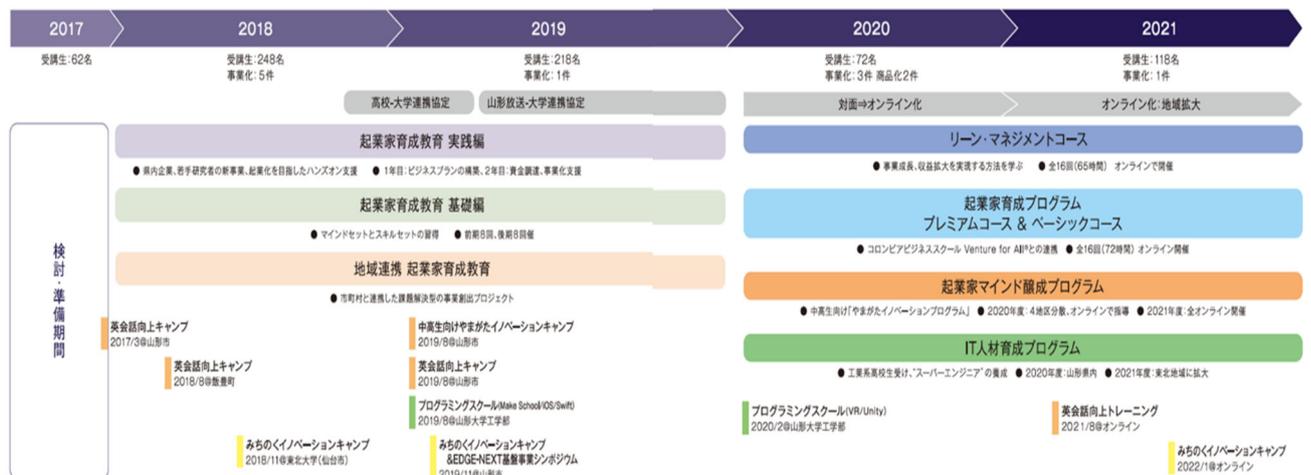
【山形大学EDGE-NEXTアントレプレナーシップ人材育成プログラム】

山形大学国際事業化研究センターでは、2017年度から5年間、文部科学省「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)」の採択を受けて、アントレプレナーシップ教育を本格的に実施しました。

高評価を受けた点では、本学が主導して企画運営を行う起業家育成プログラムであること、中高生・大学生から社会人まで一貫通貫したプログラムの提供で、自らイノベーションを起こして地域創生を体現する人材を育成している点です。更に、2020年度からは、アメリカ・コロンビア大学ビジネススクールとの有機的な連携も実現して、グローバル視点での教育についても 更に強化されました。(起業家育成プログラム・プレミアムコースとして実施)

■ EDGE-NEXTとは

文部科学省 次世代アントレプレナー育成事業
Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT generation



【山形大学アントレプレナーシップ開発センターの活動発信】

今後、センターの活動については、アントレプレナーシップ創出センターの WEB など継続的に発信をして参りますので、これからも注目して頂きたいと思ます。

☆「山形大学アントレプレナーシップ開発センター専用 WEB ページ」

<https://yu-entrepreneur.net/>



(注) i-HOPE: Development of Innovative Human resource toward Outcome the Program for Entrepreneurship)

以上

お問い合わせ

山形大学アントレプレナーシップ開発センター 服部、安房

TEL 023-628-4075 メール toshiaki.hattori@yz.yamagata-u.ac.jp

令和4年（2022年）4月7日



「なか東北連携」地域日本語教育専門人材養成事業

～岩手県・秋田県・山形県7者の事業連携協定に基づく講座について～

【本件のポイント】

- 外国人労働者、留学生の増加にともない、質の保証された日本語教育を行うための体制づくりは急務である。そこで、日本語教育課程を有する本学、岩手大学、国際教養大学が連携し講座を開講し専門人材を養成する。
- その修了者を、3県にある国際交流協会が人材として登録し、企業等からの照会に対応する。また、特定非営利活動法人が修了者に対する情報提供を行い、人材のさらなるレベルアップをはかる。
- 上記により3県における日本語教育体制がしっかりと構築・維持されることが期待できる。



【概要】

【背景】

少子高齢化に伴う人手不足を背景に、地域産業の維持には技能実習生等の外国人労働力が不可欠となっている。しかしこうした外国人の中には、地域住民と十分な意思疎通ができず、情報弱者になり地域で孤立している者もいる。また「日本人なら日本語が教えられるからボランティアで大丈夫」という誤解から「奉仕活動」として市民が教えているが、教育の質までは問われていない。日本語教育推進法（※）では、日本語教育を受ける機会の確保、その水準の維持向上がうたわれているものの、山形県には日本語教育の専門人材を養成する専門家も少ない。

【事業体制】

そこで、岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカの7者は、専門人材を養成することで3県の地域日本語教育の充実と体制整備に資することを目的として、本年2月28日に連携協定を締結した。

【事業内容－養成講座について】

養成講座は、これまでで何らかの日本語教育の経験がある人を対象とし、各県10人（合計30人）を定員とする。3月7日～4月15日まで受講者を募集する。その後、オンラインによる講座・実習（76単位時間）を3県合同で5～7月に開講する。これを修了した受講者を対象に、対面による実習（山形16単位時間）を各県において8～9月に実施する。全講座の半分以上の時間数を実習（オンライン、対面）に充てることで、質の保証された授業ができる専門人材を育成する。

【講座終了後の展望】

講座修了者を各県にある国際交流協会等が人材バンクに登録する。講座講師および特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカを中心に3県に日本語教師ネットワークを構築する。そのネットワークをもとに情報交換を行うことで、専門人材が孤立せず、さらなるスキルアップが図れる体制を目指す。

※用語解説

日本語教育推進法…「日本語教育の推進に関する法律」。令和元（2019）年6月28日に公布、施行された。外国人の日本語教育を充実させるための法律。

お問い合わせ

学術研究院教授 内海由美子（学士課程基盤教育機構担当）

TEL 023-628-4932 メール yutsumi@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年(2022年)4月7日

山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 第15回山形大学高校生朗読コンクール出場者募集

東北6県の高校生の文化交流を支援することを目的とした、第15回山形大学高校生朗読コンクールの出場者を募集します。令和4年度は、予選・本選とも録音審査により開催し、予選課題は、岩手県出身の宮沢賢治の作品「風の又三郎」を取り上げます。

【開催日程】

6月24日（金）迄	予選課題録音データの提出締切（当日消印有効）
7月29日（金）迄	予選審査の結果と合わせて予選通過者へ本選課題を通知
8月26日（金）迄	本選課題録音データの提出締切
9月30日（金）頃	本選結果の通知

2. 『アンデス文明ハンドブック』の出版について

山形大学ナスカ研究所に関わる教員が編者となり、アンデス文明の全体像を描き出した書籍が出版されました。壮大な神殿の出現からスペイン人によるインカ帝国の征服、文化遺産をめぐる現在進行形の問題にいたるまで、総勢20名の専門家によるアンデス考古学の最前線が凝縮されています。

（『アンデス文明ハンドブック』関雄二（監修）山本睦・松本雄一（編）、京都：臨川書店、2022年）

3. 令和4年度山形大学入学式について

令和4年度山形大学入学式をやまぎん県民ホール（山形市）及び附属学校園において挙行いたします。取材の際は、式典の円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年（2022年）4月7日

第15回山形大学高校生朗読コンクール出場者募集

【本件のポイント】

- 第15回山形大学高校生朗読コンクールの出場者を募集します。
- 令和4年度は予選・本選とも録音審査により開催します。
- 基盤共通教育「イベントマネジメントとプレゼンでみがく社会人基礎力」を受講する本学学生が、本コンクールの企画・運営を授業の一環として行います。



令和3年度第14回山形大学高校生朗読コンクール
山形大学学長賞受賞コメントの様子

【概要】

山形大学は、東北6県の高校生の文化交流を支援することを目的に、第15回山形大学高校生朗読コンクールを開催します。

令和4年度は、予選・本選とも録音審査により開催し、予選課題は、岩手県出身の宮沢賢治の作品「風の又三郎」を取り上げます。

本コンクールの企画・運営は、基盤共通教育「イベントマネジメントとプレゼンでみがく社会人基礎力」を受講する本学学生が授業の一環として行い、予選・本選の録音審査は、山形大学教員で構成した審査委員会が行います。

昨年度に開催した第14回山形大学高校生朗読コンクール本選（録音審査）の出場者の朗読を、YouTube 山形大学公式チャンネルにより一般公開中です（令和4年6月30日（木）まで公開予定）。

本コンクールは、例年たくさんの高校生に応募していただいております。昨年度は30校から92名の応募がありました。今年度も東北地方の多くの高校生の応募をお待ちしております。

【予選について】

- ・課題文「風の又三郎」（宮沢賢治）の朗読データを提出する録音審査により開催します。
- ・応募方法等の詳細は別紙チラシをご参照ください。

【本選について】

- ・予選審査を通過した高校生10名程度が出場できます。
- ・課題文として「風の又三郎」（宮沢賢治）から、出場者それぞれに異なる朗読箇所を指定します。
- ・本選の上位3名を山形大学学長賞として表彰し、記念品を進呈します。
- ・本選の朗読は、YouTube 山形大学公式チャンネルにより公開します（令和5年6月30日（金）まで公開予定）。
- ・本選出場者の氏名、所属高校、学年及び録音データを一般公開しますので、その旨ご了承の上でご応募ください。

【開催日程】

6月24日（金）迄	予選課題録音データの提出締切（当日消印有効）
7月29日（金）迄	予選審査の結果と合わせて予選通過者へ本選課題を通知
8月26日（金）迄	本選課題録音データの提出締切
9月30日（金）頃	本選結果の通知

【参考】

第14回高校生朗読コンクール本選（令和4年6月30日（木）まで公開）
YouTube 山形大学公式チャンネル <<https://youtu.be/rrbKxAzOTLs>>



（応募・お問合せ）

山形大学研究部 高校生朗読コンクール事務局（担当：川原）

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12

TEL：023-628-4844 メール：yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年度

第15回山形大学高校生朗読コンクール

出場者募集

予選課題

宮沢賢治「風の又三郎」

第15回を迎える山形大学高校生朗読コンクール、今年の予選課題は

岩手県出身の宮沢賢治の永遠の名作、「風の又三郎」の冒頭部分としました。

小さな小学校の教室に見知らぬ男の子がいるのを見付けた

子どもたちの戸惑いを描いた印象深い場面です。

例年たくさんの高校生に応募をいただいている本コンクール。

今年度も東北地方の多くの高校生の応募をお待ちしております。

東北6県の高中生から出場者を募集します

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度は予選・本選とも録音審査により開催します。

予選について

課題: 宮沢賢治「風の又三郎」
(ページ数は現行の新潮文庫版に基づく)
297ページ3行目「どっどど どどどど どどどど どどど」より
300ページ15行目「ああわかったあいつは風の又三郎だぞ。」まで。

開催方法: 録音審査

締切: 令和4年6月24日(金)(当日消印有効)

応募資格

高等学校、中等教育学校に在学中の生徒又は高等専門学校(1年生から3年生まで)に在学中の学生で、下記①、②のいずれかの条件を満たす者。

①東北6県に在住 ②東北6県の学校に在学

※同一学校からの応募人数制限は設けません。

本選について

課題: 宮沢賢治「風の又三郎」から、予選通過者それぞれに異なる部分を審査委員会が指定します。(出場者それぞれに朗読箇所を指定)

開催方法: 録音審査

※本選の朗読については、YouTube山形大学公式チャンネルによる公開を予定しています。

日程: 7月29日(金)まで 予選審査の結果と合わせて
予選通過者へ本選課題を通知

8月26日(金)まで 本選課題録音データの提出
9月30日(金)頃 本選結果の通知

第15回山形大学高校生朗読コンクール

主催: 国立大学法人山形大学

令和4年度 第15回山形大学高校生朗読コンクール 宮沢賢治「風の又三郎」

東北6県の高中生から出場者を募集します

◎ 予選募集要項

応募資格	高等学校、中等教育学校に在学中の生徒又は高等専門学校(1年生から3年生まで)に在学中の学生で、下記①、②のいずれかの条件を満たす者。 ①東北6県に在住 ②東北6県の学校に在学 ※同一学校からの応募人数制限は設けません。
予選課題	宮沢賢治「風の又三郎」(ページ数は現行の新潮文庫版に基づく) 297ページ3行目「どっどど どどうど どどうど どどう、」より 300ページ15行目「あわかったあいつは風の又三郎だぞ。」まで。
審査方法	山形大学教員で構成した予選審査委員会が、提出された音声データによって審査します。
応募方法	上記課題文を朗読・録音し、以下フォームよりWebにより提出、または下記の応募・お問合せまで郵送にて提出してください。なお、郵送による提出の場合、記録メディアは、CD-R/USBメモリのいずれかとなります(音声データファイルで保存)。メディアには氏名を明記してください。メディアは衝撃からの保護を施して、「高校生朗読コンクール応募」と朱書した封筒に入れてください。
申し込みフォーム	URL: https://em-q.kj.yamagata-u.ac.jp/index.php/461557?lang=ja
応募締切	令和4年6月24日(金)(当日消印有効)
備考	<ul style="list-style-type: none">●音声データの最初に、学校名、学年及び氏名を録音してください。●【郵送で応募の場合のみ】以下の項目について記した紙を同封してください。書式は自由です。 ①氏名(よみがな) ②学校名、学年 ③住所・郵便番号 ④連絡の取れる電話番号及び電子メールアドレス ⑤(学校で取りまとめてご応募の場合)担当教員の氏名(よみがな)、電話番号及び電子メールアドレス ※記載情報は本コンクールの審査及び本学からの連絡のみに用い、他用途には使用いたしません。●予選の録音メディアの費用及び郵送料は、応募者の自己負担とします。●予選で大学に送付された記録メディアは返却せず、本選後録音を消去します。●予選審査の結果については、7月29日(金)までに、個人でご応募いただいた場合は④住所へ、学校でとりまとめて応募いただいた場合は学校へ郵送でお知らせします。●予選通過者は本選に出場となります。●課題文中の地名や人名等の固有名詞の難読語等の読み方に限り、メールでの問合せに応じます。 (問合せ先: yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)



◎ 本選について

課題	宮沢賢治「風の又三郎」から、予選通過者それぞれに異なる部分を審査委員会が指定します。 (出場者それぞれに朗読箇所を指定)
開催方法	録音審査 ※本選の朗読については、YouTube山形大学公式チャンネルによる公開を予定しています。
日程	7月29日(金)まで 予選審査の結果と合わせて予選通過者へ本選課題を通知 8月26日(金)まで 本選課題録音データの提出締切 9月30日(金)頃 本選結果の通知
備考	<ul style="list-style-type: none">●予選審査の結果と合わせて予選通過者へ本選課題を通知します。●作品の内容や量による審査の有利不利は生じないよう審査の際に配慮します。●本選の審査は、山形大学教員で構成した審査委員会が行います。●本選の上位3名を山形大学学長賞として表彰します。●表彰者へは、賞状等の記念品を進呈いたします。 <p>《本選のYouTubeによる公開について》</p> <ul style="list-style-type: none">●本選については、本選出場者の活躍を多くの方々にご覧いただきたく、YouTube山形大学公式チャンネルによる一般公開を予定しています(令和5年6月30日(金)まで公開予定)。●本選出場者の氏名、所属高校、学年及び録音データの個人情報を一般公開させていただきますので理解とご協力をお願いします。●本選出場者の名誉等の保護のため、YouTube山形大学公式チャンネルは、第三者が評価やコメント等の機能を利用できない設定で公開します。 <p>(参考) 令和3年度 第14回山形大学高校生朗読コンクール本選(令和4年6月30日(木)まで公開予定) https://youtu.be/rrbKxAz0TLs</p>



応募・お問合せ先 山形大学研究部 高校生朗読コンクール事務局 〒990-8560 山形市小白川町一丁目-4-12

Tel:023-628-4844 E-mail:yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※電話によるお問合せは、平日9:00～17:00にお願いします。

令和4年（2022年）4月7日

『アンデス文明ハンドブック』の出版について

【本件のポイント】

- 山形大学ナスカ研究所に関わる教員が编者となり、アンデス文明の全体像を描き出した書籍が出版された。これは、日本のアンデス研究者が結集して通史をカバーするという、これまでになかった試みである。
- 本書はアンデス文明の主要な時代とテーマを網羅し、研究の最先端を総勢20名の専門家が論じるという点において、先例のないものである。また、本学のナスカに関する最新の成果も扱われている。
- 本書はアンデス文明に関する初学者向けの導入書、および大学生用の教科書を意図して書かれた書籍である。これによって、アンデス文明のファンがふえると同時に、より多くの人々がアンデス研究を志す一つの契機となり、研究のすそ野がひろがることが期待される。また、山形大学での教育活動においても、研究成果の教育への還元という重要な役割を担う書籍として位置づけられる。



(C) 山形大学ナスカ研究所

【概要】

アンデス文明ハンドブックは、様々な古代文化の総体であるアンデス文明に関する初学者向けの導入書、および大学学部生用の教科書を意図して編まれたものである。アンデス文明のなかでも、ナスカやマチュピチュをはじめとした文化遺産については、日本においても広く知られている。

その一方で、日本人によるアンデス文明の調査・研究が半世紀以上の歴史を持ち、国際学会の最前線にたち続けていることは、一般に十分に認識されているとはいいがたい。また、国際的にも日本の研究者の層は厚いが、それぞれの調査の最新の成果は国際学会での発表や学術論文という形をとることが多く、一般にたいして開かれた状態であるとはいえない。

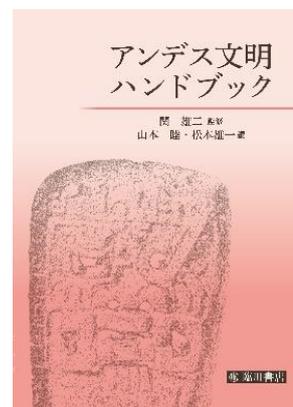
そこで本書では、アンデス各地で調査をおこなう気鋭の日本人研究者らに、各自の専門とする地域および時期に関して、自身の調査成果や最新の知見、国際的な研究動向を関連づけて平易に論じてもらった。

結果として本書には、壮大な神殿の出現からスペイン人によるインカ帝国の征服、文化遺産をめぐる現在進行形の問題にいたるまで、総勢20名の専門家によるアンデス考古学の最前線が凝縮されることとなった。もちろんその中には、坂井正人教授をはじめとする本学のナスカ研究所に所属する教員による研究の最新の成果も含まれており、アンデス研究におけるその重要性が示されている。

アンデス文明の主要な時代とテーマを網羅し、研究の醍醐味を解説した本書によって、アンデス文明のファンがふえると同時に、より多くの人々がアンデス研究を志す一つのきっかけとなり、研究のすそ野がひろがることが期待される。また、この書籍は、山形大学での教育活動においても、研究成果の教育への還元という重要な役割を担うものとして位置づけられる。



(C) 山形大学ナスカ研究所



『アンデス文明ハンドブック』 関雄二（監修）山本睦・松本雄一（編）、京都：臨川書店。2022年。

お問い合わせ

学術研究院（人文社会科学部）准教授 山本睦

TEL 023-628-4811 メール llamamoto@human.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年（2022年）4月7日

令和4年度山形大学入学式について

【本件のポイント】

- 各会場では、係員の指示に従っていただき、式典の円滑な進行にご協力をお願いいたします。
- 学長告辞については当日に配付いたしますが、式終了後に公表願います。
- 事前の取材申し込みは不要です。

【概要】

令和4年度山形大学入学式をやまぎん県民ホール（山形市）及び附属学校園において、下記のとおり挙行いたします。山形大学入学式は3年ぶりの開催となります。式当日の取材に際しては、各会場における留意事項を遵守の上、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。
また、学長告辞については当日に配付いたしますが、式終了後に公表願います。

【山形大学入学式】

日時：令和4年4月8日(金)

会場：やまぎん県民ホール（山形市双葉町1-2-38）

※報道機関への公開は第1部のみとさせていただきます。ご了承くださいませようお願いします。

（第1部）11：00～11：30（開場10：00）

医学部・工学部・農学部

医学系研究科・理工学研究科（工学系）・有機材料システム研究科・農学研究科

（第2部）13：30～14：00（開場12：30）

人文社会科学部・地域教育文化学部・理学部

社会文化創造研究科・理工学研究科（理学系）・教育実践研究科・養護教諭特別別科

（式次第）1.開式のことば

2.山形大学大学歌静聴

3.学長告辞

4.入学生宣誓

5.学長・副学長等紹介

6.閉式のことば

【山形大学附属学校園入園・入学式】

附属幼稚園

日時：令和4年4月11日（月） 9：30～ / 場所：附属幼稚園遊戯室

附属小学校

日時：令和4年4月8日（金） 9：30～ / 場所：附属小学校体育館

附属中学校

日時：令和4年4月8日（金） 13：30～ / 場所：附属中学校体育館

附属特別支援学校

日時：令和4年4月11日（月） 10：50～ / 場所：附属特別支援学校体育館

お問い合わせ

総務部総務課 TEL 023-628-4006